

**一般企業向け
人材育成カリキュラム
ベーシック版**

- **管理・監督者養成シリーズ**
 - ③ **目標達成力を高める**

JMI

株式会社 日本マネジメント協会（中部）

JAPAN MANAGEMENT INSTITUTE

〒464-0075 名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル4F

TEL 052-745-6010 FAX 052-732-0010

MAIL jmi.145@aioros.ocn.ne.jp URL <http://www.jmi-web.co.jp>

管理・監督者養成シリーズ ③ 目標達成力を高める

研修内容

時間	項目	詳細、得たい成果
1日間	開講 オリエンテーション 講師自己紹介 本研修の目的と進め方 研修における目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修の目的と内容について理解する。 ● 研修の進め方は、グループディスカッションやロールプレイングを織り交ぜて進めることを理解する。 ● この研修を通して、何を得たいのか、何を期待しているのかを明文化する。
	1. 目標達成に関するリーダーの心構え 【講義】	<ol style="list-style-type: none"> 1) 結果についての責任は全てリーダー。 2) 行動についての責任は部下とリーダー。 3) 出すべき結果が出せていなければ、それはリーダーの責任。 部下はやるべきことをやるのが責任を果たすこと。やるべきことがやれていなければ、その部下を徹底的に指導する必要がある。
	2. PDCAマネジメントサイクルとは？～何故PDCAを回す必要があるのか？～ 【講義、ロールプレイング】	<ol style="list-style-type: none"> 1) PDCAマネジメントサイクルとは何かを理解する。何故、PDCAを回すことがマネジメントにとって大事なのかを理解する。
	3. 目標の見える化、行動の見える化 成果の見える化 【講義、個人ワーク、グループ討議】	<ol style="list-style-type: none"> 1) 見える化とは何か？（見える化の定義）、見える化の目的とは何か？を理解する。 2) チームビジョンを実現するための年度（半期）目標を策定する。 ※ 既にチームとしての目標が明確になっていれば、それを持参。 3) その目標を実現するために必要な行動は何か？を明確にする。 その行動を「行動目標」に落とし込む。 行動目標：「いつまでに、何を、どのレベルまで実現するか」 4) その行動の結果としての成果を見える化するにはどうしたら良いかを個人で考える。
	4. 見える化に基づいて、PDCAのマネジメントサイクルを回す 【講義、グループ討議】	<ol style="list-style-type: none"> 1) Plan（計画）の立て方を学ぶ。 2) 適切な目標の立て方、結果目標とプロセス目標を明確に分けて考えられるようにする。 3) いつから、いつまでに、誰が、何を、どのレベルまで行うのかを明確にする。 4) Do（実施）のプロセスと結果を振り返る。その振り返り方を学ぶ。 5) Checkの基本は、「何故うまくいったのか？」「何故うまくいかなかったのか？」を深掘りしていくこと。 6) Actionとして、Checkで明らかになった「うまくいった理由」、「うまくいかなかった理由」から、「では、今度どうしたら良いのか」の対策を検討し、その方法を学ぶ。
	5. 研修の振り返り&今後の行動宣言	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本日の研修を振り返り、今後どんなことに取り組んでいくのかを決める。 2) それを継続して取り組んでいける仕組みも考える。
	6. 講師講評	